

師走を迎え、令和4年も残すところわずかになってきました。が、コロナの猖獗は未だ収まらず、人々はその恐怖のため効果が期待できないにもかかわらずマスクを着用し続けています。そして数多くの犠牲者や後遺症者を出して実質的に百害あって一利も無いワクチンに傾斜しています。

このコロナ騒動は令和2年1月から湧きおこりました。「令和」の年号は「令和→霊和」に置き換えられ「靈性に和す」と読み解けるようです。スピリチュアルの世界で唱えられている「体主霊従から霊主体従」へ転換する時代とピッタリ符合していることは不思議なことです。

陰陽、表裏、霊と体の掟に気付かずに暴走

この宇宙は「陰と陽」、「表と裏」、「明と暗」、「霊と体」というように、相対する異なったものが絡み合い調和することによって成り立っています。

「人」も右上の図解のように、肉体を表す「ノ」の能きと、靈的な裏の「ㄣ」の能きが合体した形であるように、人間は物的な肉体と靈的な魂・心の二面性によって成り立っています。

ところが現代人の多くはこの真理に気付かず、自分とは己の肉体であると錯覚しています。この唯物的な考え方は一事が万事この世のすべてに及んでおり、人々は物・金中心の生き方に傾斜しているのです。

そのためエゴの心、我れ善しの心、利己主義の心に捉われて、小は個人から大は国家に至るまで強い者勝ちの考え方で暴走しているのです。

唯物的な生き方で滅びの道を歩む世界人類

何事も宇宙の法則に順ずるときは栄え反する時は滅びの道を辿ることになります。物質偏重の生き方は宇宙の掟(おきて)から大きく外れていますので、人類が滅亡の道をたどることは自明の理なのです。

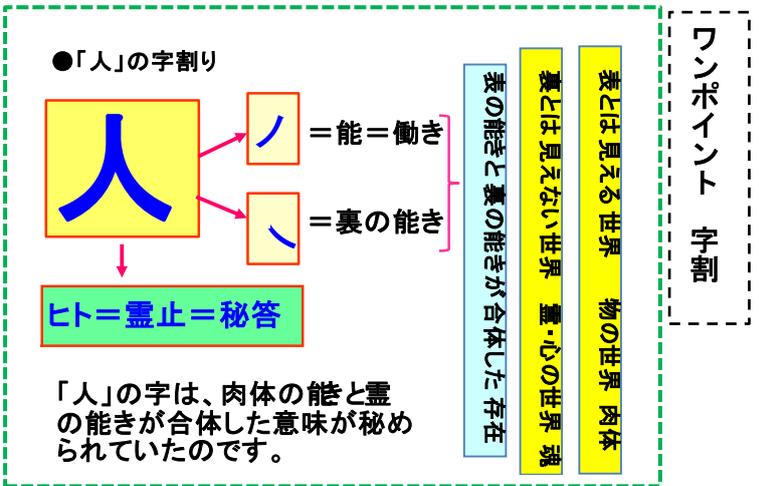
その滅びの現象がひたひたと人類の上に覆いかぶさって来ているのです。原水爆やミサイル、地球環境の破壊、人口の爆発的、全世界的に起きようとしている経済危機と食糧危機、各地で沸き起きている戦争や紛争、さらにはコロナの蔓延と有害この上ないワクチン接種というように・・・、さまざまな面で人類は綻(ほろ)びの現象を湧き起こしているのです。

急がれる靈性への回帰、光透波はその道標

一時も早く宇宙の法則、即ち転換の時代に順じてゆく必要があるのです。物・金・エゴ中心の唯物的な生き方から、「令和が示す霊和」靈性に目覚め、霊体一致の人間本来の生き方に戻ることが求められているのです。そこにこそ物心調和・共存平和の道が開かれているのです。

この新しい転換の生き方、指導理法が、実は私達が普段使っている日本語の奥に脈打っていることをご存知でしょうか？それが古くから言霊の国と称されてきた日本の言葉文化の中から生まれた言霊学＝光透波なのです。詳しくは本誌で紹介している各地の光透波セミナー、講座へ。または書籍へ。

文責 宿谷



「人」の字は、肉体の能と霊の能きが合体した意味が秘められていたのです。

命波の會圖

連載 — 5

竹矢来の不思議な現象が読み解かれる

前号で紹介いたしました小田野先生が剣山の洞窟で竹矢来に塞がれた不思議な体験・・・その謎は19年後の1972年に明らかになって行くことになりました。剣山の洞窟の謎は(1972 → 十九、七二 → トクナニ

→ 解く何)何が解けることになったのです。その何とは、竹に合ったことは「答」(竹合)なのだと分かった。竹矢来から現れる印はカゴメ紋になるから、カゴメの答理(とり)と解けたのです。

そして、弥勒岩の前で竹矢来に遭遇した事は、弥勒菩薩のカゴメの答理とも捉えることができます。又、カゴメの童謡の歌詞は「籠の中のトリは何時何時出合う夜明けの晩に鶴と亀と出会った後ろの正面誰れ」正に剣山の洞窟で真暗の中で籠目に入れられた、明るくなった後にその後ろが弥勒岩であることが確かめられました。

そして、後ろとはウシロ → ウとは宇宙の「ウ」、シは「子」、ロは「露」→「ウと子で字」となり、後ろの正面とは「字が露れる」それは字こそ弥勒下生とも解釈できると、小田野先生と兄から私は伺っています。

小田野早秧先生は宇宙の根源の無限絶対性の謎を解かれています。その絶対性原理(命波理論)がカゴメの答理であったことを、天の啓示は明らかにされたのです。

カラービジョンの意義を明らかにされた油井真砂先生

そして、不思議なカラーテレビの最後の映像場面で、真新しい白木の御膳が何か丸いものに乗っかってひっくり返っていた画像の謎は、これより以前の昭和 33 年に、小田野先生が生涯最も敬愛されていた医師であり卓越した霊能者であった油井真砂先生の分身の術による霊視によって明らかにされました。

油井先生は「お膳の下に隠れていたのは石の達磨であった。膳とは日常生活の常識を意味している」そして「膳はまた禅に通じており、小田野先生は生活の無駄を見直し生かしていく徹底した生活禅をされた方です。その生活の中から、世間の常識をひっくり返すような理論を発見された小田野先生のお役目を示されているのよ」と、油井先生は言われたのです。

徹底的に合理的な生活を送られた小田野早秧先生

小田野先生の日常生活の徹底された合理性の一端を紹介いたしましょう。先生は14年間にわたって堀尾家で、私たちと生活を共にいたしました。先生が手の爪を切る時、挟みで爪の中心部から左右 2 カ所を山型に切ります。先生曰く「手の爪は物を掴み易くするものでもあるでしょ。それに切った爪は両手分 20 個あれば確認できるし誠に合理的でしょ」と。

又、メモ魔と言われるほど朝起きて寝るまで小さなメモ帳に小さな字で隅々に書かれていました。A4の半分位の大きめのメモ帳に字割を纏められる前に、先生は新聞の広告の裏白紙を使って下書きするのです。それをメモ帳に2、3日掛けて丁寧に清書されていっしょにしました。そして、広告の裏紙は消しゴムで消し何度も再利用されていました。母が見かねて「先生今日良い裏紙が新聞に入って来ましたよ」と、「あらそれはそれは」と、漸く交換されます。今までの広告紙はお役目ありがとうございましたと労(ねぎら)い始末されます。このように先生は諸事万端、合理的で真摯な生活を心掛けておられました。

また、音と数とコトバ(字)をご自分自身の日々の生活禅の中で徹底して活用なされていました。ある日、私は新聞を踏んでしまいました。「キミちゃん新聞には大切な字がいっぱい印刷されているでしょう。字は観音力・観音様ですよ」と、先生は私に謝らせるのではなく、天の字に感謝して理解するのですよ、と諭されました。このように生活を共にさせて頂く日常の中で、至らない所だらけの私を言分けしてお叱りくださったことを、今でも有難く心に刻んでいます。今つくづく実感し感慨無量の思いでいます。

言葉には珠玉の言霊の力が宿っている

先月の11月24日は小田野早秧先生が逝去されて22年忌、そして兄・泉實は8月3日に逝去していますので4年目に入っています。22は加えても掛けても4となります。4はシと読み天鏡図から索引すると「自思茲詞」の4字が入っています。読み方次第では無限に広げることができます。例えば「自ら思う茲の詞」(光透波=透明な光の波エネルギー=言波)。私たちが日常使用している言葉は概念を対象とした言葉であり、その言葉を私達

「命波学教本」堀尾泉實著 命波学=光透波理論習得の必読のテキストです。定価 2500円

ご希望の方は、實光透波研究会 名古屋市名東区香南1-103-8-201 堀尾 君子

メールアドレス s8910kimiko@yahoo.co.jp 090-8499-5989まで

は活用しています。その言葉の奥に脈打つ働きの源が、実は概念を超越した抽象の世界＝光透波である詞（言波）であって、この根源的なコトハがあるからこそ私達は言葉を使うことができているのです。ですから言葉には珠玉の言霊の力が宿っているのです。

富士(フジ=普字)は晴れたり日本晴れ

来年は小田野先生と兄とのコラボ「4=詞」そして22の「フジ=普負字」になる年です。日月神示の冒頭の「富士は晴れたり日本晴れ」にも繋がります。纏めますと来年は二人の思いが天と繋がり、22と4の音と数と詞の字が富士は晴れる。それは日本語力パワーと読み替えることもできます。

小田野先生が小学生の時、算数のテストはいつも100点満点なのですが取った日は、必ずというようにきれいな見事な富士山をその都度、不思議と見ることが出来たと、先生からお聴きしています。

又、岡本天明氏も小田野先生宅の二階を間借りされていた時、信者さん方に講義される冒頭に必ず「富士は晴れたり日本晴れ」と何回も唱えておられていたそうです。

来年は一層の強い波動の能く年になると思えます。少しでも理解力を深めたいと思っています。今年8月号から「命波の會図」の原稿をご縁で綴る機会を頂いています。読者の皆様がお読みくださりありがとうございます。12月ということで、少し早いですがどうぞ佳きお年をお迎えくださいませ。来年もよろしくお願ひ申し上げます。

(つづく)

堀尾君子

12月 光透波セミナーのご案内

●「諏訪 光透波講座」 (第2回)

●日 時 12月3日(土) PM 1:00~PM5:30

●場 所 神州の龍神 喫茶室 長野市諏訪市中洲1362 090-4181-5310

●演 題 「諏訪は縄文の故郷、縄文は言霊豊かな和の時代」 ※休憩・コーヒータイムあり

●講 師 宿谷直晃 ●参加費 4,000円

※お申込みお問い合わせは宿谷 090-2447-2037 又は神尾 090-4181-5310

●「ワクワク光透波塾」 (第138回 光透波セミナー)

●日 時 12月16日(金) PM 1:30~PM4:45

●場 所 神明いきいきプラザ 集会室 A (4F) 東京都港区浜松町1-6-7

●演 題 「色即是空 宇宙の実態は波動の世界」 JR浜松町(北口)地下鉄大門(B1)4分

●講 師 宿谷直晃 ●参加費 3,000円

●Zoom入門講座 隔週火曜日

●12月6日(火) PM 8:00~PM10:00 「③宇宙のお話」

●12月20日(火) PM 8:00~PM10:00 「④ことばと生命の話」

●講 師 宿谷直晃 ●参加費 3000円

※Zoom講座の申し込み先 syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037

「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。

● 名古屋 命波学講座

- 日 時 12月 9日(金) PM 2:00~PM5:00 和やか会
- 日 時 12月10日(土) PM 1:00~PM4:00 和やか会
- 日 時 12月15日(木) AM 8:30~AM11:30 中級講座 第1回
- 日 時 12月21日(水) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第2回
- 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
- 講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講希望の方は日時調整しますので、お問合せください。090-8499-5989

● 名古屋 光透波塾 (光透波と神との関り)

- 日 時 12月 4日(日) AM 10:00~PM1:00 ・熱田神宮参拝と光透波講座の集い
- 演 題 「神を量子力学的観点から紐解きます」
- 場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前)
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

※ お申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

● Zoom 字割会 午前の部

- 12月 3日(土) AM10:00~AM11:00 「数とアルファベット変換」

● Zoom 字割会 午後の部

- 12月 2日(金) PM10:00~PM11:00 「数とアルファベット変換」

- 講 師 磯部賢一 ●参加費 ドネーション

● Zoom 個人レッスン (初回無料)

- 予約制 あなたの都合よい時間に受けられます。 一対一の対話形式で生活に密着した光透波講座です。文字の言霊により、本当の自分発見を発見します。数回受講で天鏡図が取得できます。

- 参加費 3,000円/1時間

※事前予約必要 ご連絡いただければ、IDとパスワードを送ります。

※ Zoomのお申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

● 明石 第19回 日本語セミナー

- 日 時 12月 3日(土) AM10:00~PM 0:00
- 場 所 林宅 林仙山荘 兵庫県加古郡播磨町西野添2-5-12
- 演 題 「瀬戸際の時代に生きる」
- 講 師 林和也 ●参加費 2000円

※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

光透波の会

| | | |
|------------|--|---------------|
| 實光透波研究会 | 名古屋市名東区香南1-103-8-201 | 堀尾君子 |
| メールアドレス | s8910kimiko@yahoo.co.jp | 090-8499-5989 |
| 光透波塾 | 名古屋市熱田区旗屋2-16-4 | 磯部賢一 |
| メールアドレス | isobekk50@yahoo.co.jp | 090-9199-0248 |
| 光透波ワクワク塾 | 東京都品川区小山6-19-5 | 宿谷直晃 |
| メールアドレス | syu98-8do8@mbr.nifty.com | 090-2447-2037 |
| 光透波・言霊セミナー | 兵庫県播磨町西野添2-5-12 | 林和也 |
| | | 090-8580-3776 |

光透波のホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>